

築地松あれこれ

島根県出雲地方の築地松と散居景観の織り成す景観は、まさしくこの地方独特の豊かな農村散居景観で、全国に誇り得る貴重な資産と言えるものです。

ついでまつ 1. 築地松の成り立ち

時代は明らかではありませんが、郷村社会の成立の頃、この地方の豪農が河川の洪水時に浸水を防ぐため、屋敷の土地の高さを数メートル高くした上、屋敷まわりに土居（土塁。この地方では「築地」と呼ぶ）を築き、その土居を固めるため水に強い樹木や竹を植えたのが、築地松のはじまりと言われています。

もともと、この出雲平野は、日本でも有数の湿地であったため水はけが悪く、畑地の作物づくりには高畝式という独特のやり方が昭和30年代くらいまで行われてきました。

そういった土地環境も築地松誕生の一因になったとも言えるでしょう。



2 . 築地松の効用

出雲地方の歴史や土地柄から見て次のようないろいろな説があります。

冬季、日本海からまともに吹きつける強い季節風を防ぐ
斐伊川の氾濫のとき土地ごと流されることを防ぐ
築地松の枝おろししたものを燃料として蓄える
火災のとき、隣家への延焼を防ぐ
マテバシイの実や竹の子を食料の足しにできる
家屋に風格をもたせる



3 . 築地松の歴史と型

古い型の築地松

古くは家を覆う森のような屋敷森であったと言われていいます。中心的樹木は鎮守の森の主木であるスダジイやタブノキです。

中間型の築地松

10世代前後(約300年)の屋敷の多くは、西側に季節風に強く風格のあるクロマツで、北や東はスダジイ、タブノキ、モチノキやヤブニッケイで囲まれています。



新しい型の築地松

4～5世代(江戸期から明治期にかけて)の家の多くは、築地松の名のごとく屋敷の廻りはクロマツのみによって囲まれています。築地松を美しく刈り込む陰手刈りも、明治期の終わり頃からであるといわれています。

築地松とマテバシイについて

出雲平野の築地松を語る時、マテバシイを無視することはできません。クロマツの下で重要な風衝樹としての役割を演じています。大きな種をつけるマテバシイは、古来より重要な食糧源でもあったことでしょう。

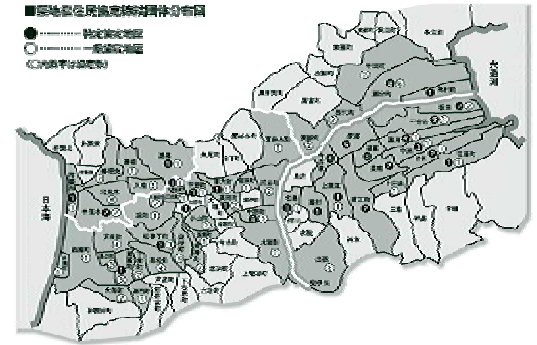
変遷

原型は照葉樹(シイ、タブ)が西、北、東を囲んでいましたが、新しい型では、たいていは針葉樹(クロマツ)で西と北側を囲んでいます。



4 . 築地松の状況

築地松保有家屋数 3,380戸(H11実態調査)
築地松景観保全住民協定の認定数(H21.3現在)
協定数 155 構成人数 3,190人
所有者数 2,274人 面積 2,880ha
築地松景観保全対策推進協議会から維持管理(剪定、
枯松伐倒及び新植・補植、松くい虫防除)費用に対
して助成金を交付しています。



5 . 陰手刈り Q & A

のうてご
陰手刈りとは何？

陰手刈りとは、4～5年に一度行われる築地松の剪定作業のことを言います。剪定の主な目的は、田畑や屋敷に日陰ができることを防ぐことですが、築地松の風通しを良くして、台風などの暴風で木が倒れるのを防ぐことや、松くい虫から松の木を守ることもあります。そして何よりも、出雲地方独特の景観を形作っている築地松の、美しい幾何学的な造形を維持することが目的です。始まりは、明治から大正期にかけてと見られています。



何故、4～5年間隔で行うのか？

松の小枝が密にならない程度にちょうど間引くことができ、枝数も自然に制御できます。2～3年間隔で陰手刈りをし続けると、小枝が詰まってきて作業が大変になります。また、5年以上になると、枝元では新芽を出すことができなくなり、その部分は松葉がなくなります。そのため、手入れに困ることとなります。

陰手刈りをしないとどうなるの？

手入れを怠ると、上の枝だけが盛んに成長し、また枝が四方に広がります。すると、樹の中の部分や幹の下の部分の枝は、日光不足となり枯死してしまいます。そのため、防風効果が失われたり、枝が四方に広がることで日陰(ノーテ)が増え、屋敷に隣接する田畑の農作物の成長に影響が出ます。

また、家屋の屋根の上に枝が伸びて、屋根に枯れ葉がたくさん落ちて、雨樋が詰まるなどの家屋への被害も出てきます。加えて、木が高く伸びるにつれて樹冠も大きくなり、台風のような強風に際して風圧が加わり、根倒れを起こして家屋に大きな被害を及ぼす可能性もあります。

6 . 陰手刈り技術研修会

築地松の美しさは、陰手刈り職人の技術と技によって守られてきました。しかし、近年、陰手刈り職人は不足してきています。

そこで、築地松景観保全対策推進協議会では、陰手刈り職人の後継者育成のため、現役の職人さんを講師とした陰手刈り技術研修会を毎年開催し、技術の伝承を行っています。



【参考文献】

- ・『陰手刈り職人の技と心』平成 13 年 9 月 築地松景観保全対策推進協議会発行
- ・有田宗一著『ついじまつCOMMUNICATION第 11 号(平成12年3月)』『築地松物語』

発行：平成 21 年 3 月

作成：築地松景観保全対策推進協議会

